中部　日本みつばちの会

第4回総会

2014/02/15　名古屋市農業センターにて

今年は皆さんの協力で公開採蜜会、ﾊﾞｰﾍﾞｷｭ、等の情報交換を行い、楽しい一年でした。
しかし、ニホンミツバチにとっては、例年になく多数群の消滅があり緊急の対策に皆さんの支援をお願いします。

参加者は会員44名中　　25名

総会の風景

1.25年度活動報告

活動内容	日付	場所と内容	参加者
第3回総会	3/23（土）	農業センター	28名
ミツバチの配布	4～6月	会員13群　他	希望者14名
初心者対象の情報交換会	4/7(日)	トミタグリーンさ事務所	8名
ﾊﾁﾐﾂくらべ	5/5	白鳥庭園イベント(西洋とニホンミツバチ)	8名
第8回 おしゃべり情報交換会	6/1（土）	瀬戸市内田町河田養蜂所で採蜜会	14名 試食34名
Eテレ撮影協力		もりへ行こうよ(モリゾウとキッコロ) 河田養蜂所　テレビ放映（5/4、9/27）	10名
第9回 おしゃべり情報交換会	9/28（日）	瀬戸市内田町河田養蜂所 バーベキューを食べながら。	24名
養蜂具各種の販売	周年	金陵辺・巣箱・ハチマイッター、ネット他	
下條村やまみつ愛好会勉強会	偶数月　8日	長野県下條村　高島主催　4月、6月、8月、1月	延7名参加
飼育ホロー	周年	例会、情報交換会等	
その他情報の発信	適時	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ書き換え・在来種みつばちの会ﾒｰﾙ情報・養蜂振興法説明会他	

3.今年のまとめ

会としてはベテランが増え当初の目的が達成できていたが最近蜜蜂の徘徊消滅が増え蜂数は大幅に減っている。

【会全体での情報交換】

１．年一回総会

２，全体の共同イベントおしゃべり情報交換会等

・6月公開採蜜会　・9月バ−ベキュ−　・1月笑味会は徘徊消滅が増えその対策で未実施

【テーマ別情報交換会】

１，初心者対象他　採蜜会と情報交換会を行った

２、養蜂技術実践（分蜂捕獲、採蜜実践、巣箱作成、天敵トラップ対応等）

4、役員改選

役員	役　割	平成25年	平成26年
代表者（会長）	総会、役員会を招集し会務を総括する。方向付け、推進		
副会長	会長を補佐し、会長に支障がある場合は代行する。		
会計	会の活動予算案を作成、金銭の収支管理を行う。		
会計監査	会計業務が適正か監査する。		
書記	総会、役員会の議事録を作成する。		
事務所管理	事務所管理		
班連絡員	行事活動内容連絡と参加出欠の確認と報告（会長）		

5.規約改正

第　6条　（事業）

②. 例　会

３月の第三土曜日に行い総会と兼ねる。　→

２月第三土曜日に行い総会と兼ねる。

第　9条　（ 事務局）

郵便局振り替え

口座番号　０８００－１－２０６９７９

→　12120－57642421

加入者名　　中部　日本みつばちの会

銀行から振込場合

〇八九店（089）　当座　0206979

→店名二一八（読みはニイチハチ）店番218　普通　5764242

6.26年度活動計画

No	内　容	時　期	備　考
1	分蜂配布（過剰分蜂の処分）	4月～5月末	過剰分蜂希望者は申告
2	テーマ別報交換会	初心者適時案内	情報交換会でテーマは自由
3	総　会	2月	会の推進
4	重箱式公開採蜜の実施	6月・酒井宅	部外者有料
5	バーベキュ	9月	会費2,000円
6	笑味会・講師招集による勉強会	12月	講師料20,000円
7	下條村やまみつ愛好会参加	偶数月	名古屋からの見学
8	冬場の疎開移動(脱糞対策)	12月～3月	住宅地以外の里山等へ
9	養蜂具斡旋	周年	巣箱、ﾊﾁﾏｲｯﾀｰ、板材、強羅　等

10.その他（別紙参照）

- ニホンミツバチの徘徊消滅の一因判明
- 飼育年間計画改訂(201402015)
- 分蜂の4～6月予測
- 春の分蜂の時期となりました。最初の牡蓋の運び出しを観察して3～4週間後の分蜂に備え、捕獲板・金陵辺・巣箱・ハチマイッターの準備を怠りなく。
- 分蜂捕獲と定着手順
- 日本ミツバチの参考書・ブログ

11.中部地区のニホンミツバチ徘徊消滅の原因と対策

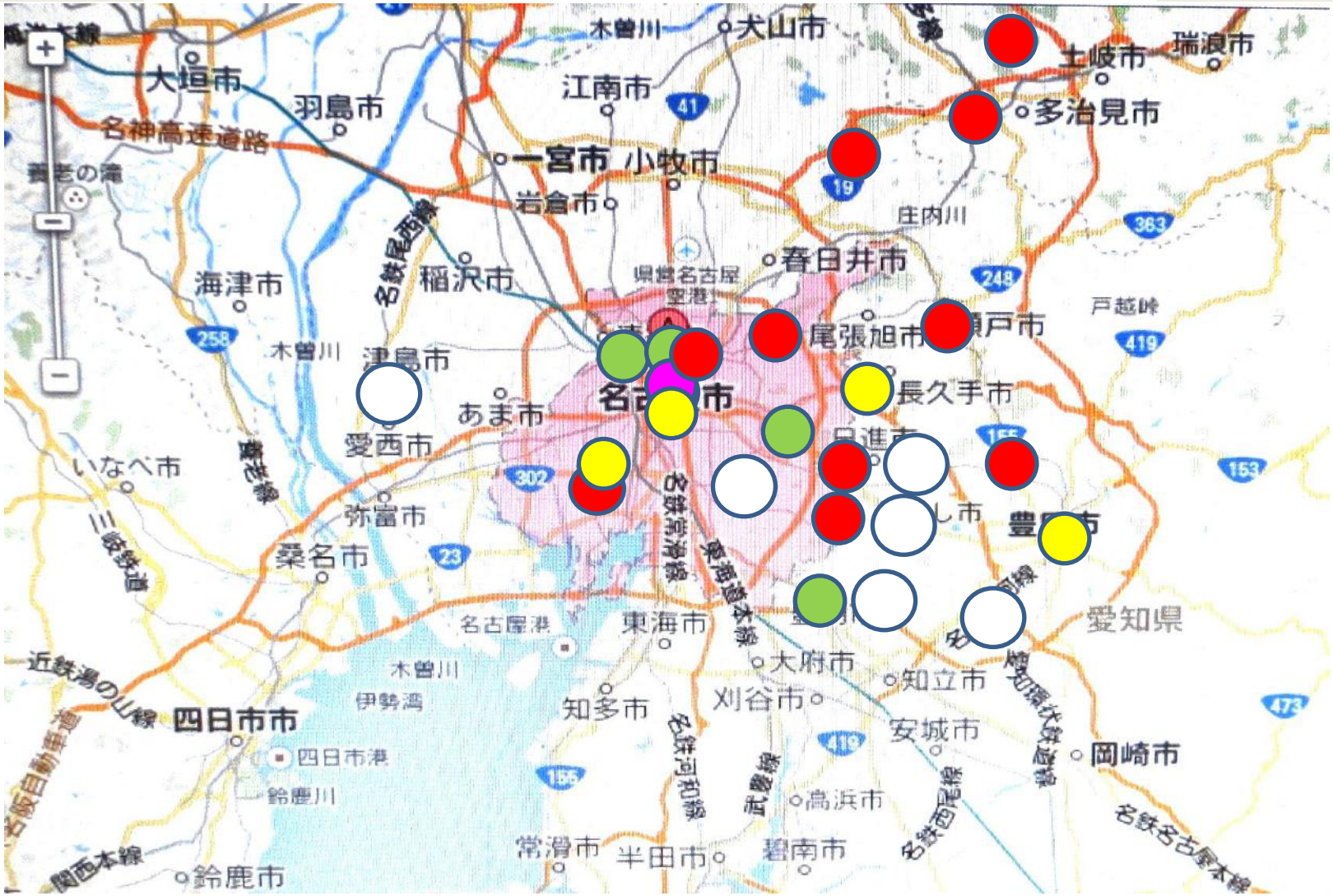
平成26年02月15日
中部　日本みつばちの会
望月建彦

　当会では平成23年～より多数の徘徊消滅があった。
25年～26年1月かけて約50群が徘徊消滅（13カ所以上）した。
　その１原因は、蜂の解剖分析でｱｶﾘﾝﾀﾞﾆに感染していた。
対策は、はっかの結晶を巣箱内に入れﾀﾞﾆ増殖を抑える。
又、同敷地内の群は元気でも伝染していることも判ったので
同様な処置が必要。

中部地区感染状況

Google地図

○ :目視健康



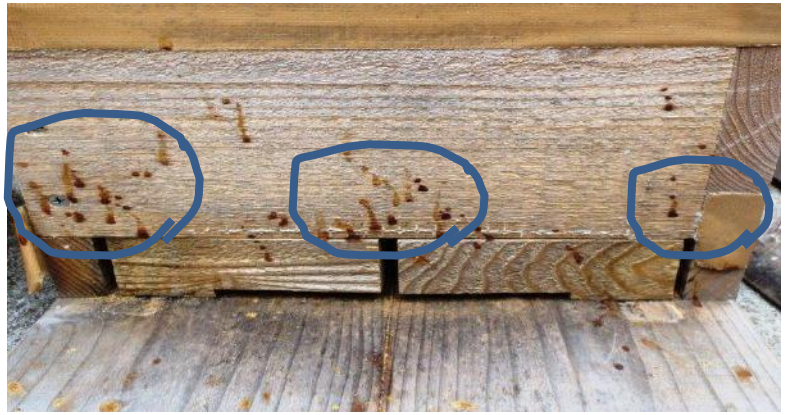
:H23年　:H24年　:H25年　:H26年(分析確認先)

25年10～11月徘徊蜂群の状況

徘徊蜂の状況

1，徘徊は昼頃に新蜂と思われる。?
2，異常な蜂はﾀｰﾙ状で巣門廻りにする。
3，巣覚え時間に出て滑走路から落下する。
（刺さない、下羽根が異常で飛ばない）
4．落下蜂は徘徊して巣箱に戻れないで
毎日～数十匹前後巣廻りで死ぬ。
鳥のエサと なり屍骸がないこともある。
5，花粉を持ってくるが数が少ない。
6，子捨てもあり。
7，10月頃より本格的に徘徊が再開始し
年末～2月頃消滅する。
その他、8月に徘徊が見られた。
8,分蜂時期に分蜂が起こらない。
9.2月朝6時頃寒いのに分蜂のように巣箱から出る。

ﾀｰﾙ状の脱糞　(通常は無い)



基台で徘徊し落下

徘徊群のアカリンダニ感染分析

- 徘徊群の分析先

  独法　農業生物資源研究所　昆虫科学研究領域

  昆虫相互作用研究ユニット　　前田太郎　様

- 結果　徘徊蜂の気管支からアカリンダを検出する。

採取群	感染率	感染数	備　考
No.1	94.7%	（18/19個体）	全群感染が
No.2	95.0%	（19/20個体）	確認した
No.3	95.5%	（21/22個体）	H26年01月

この変色した気管支内にダニがいる

- まとめ

  アカリンダニ感染で、周囲の一見健全に見える群も感染しているのではっか結晶の匂いでダニ増殖を防止する。

アカリンダニの感染対策

① ダニ対策としてハーブ類に効果が有り。
②感染や疑しいことが判ったら1km以上遠方に隔離
③徘徊群と同じ敷地の蜂群も感染している可能性が大きいので10～3月に ﾊｰﾌﾞ等で増殖を抑える。
④ ダニ消滅した巣箱は、感染するので再使用はしない。（燃焼処分が適当）
⑤蜂蜜は、食用にして問題がないと言われている。

アカリンダニ増殖防止飼育法

（ストレス防止飼育）

飼育環境　・1箇所での飼育群数は4箱以下（1箱当たりの集蜜量を増やし強勢群を作る。）

・冬は暖かく、夏は涼しく静かな箇所（冬は巣門を狭く、発泡ｽﾁﾛｰﾙとで保温しｽﾄﾚｽを下げる。

・田畑が少なく農薬影響のない、オオｽｽﾞﾒﾊﾞﾁの来襲を防止する。

・ダニは湿気を好むので床を高くする。

その他　・採蜜し過ぎない(秋口は採蜜を避ける。）

・再蜜後の絞りかすはミネラル・酵母・酵素を含むので−20℃冷凍防虫し栄養剤として与える。

はっか結晶（メントール）の実績

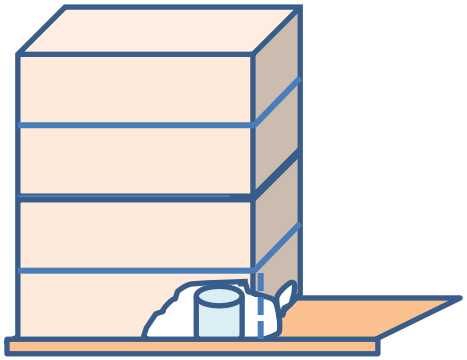
- 2012年分蜂群捕獲。
- 2013年6月初旬　感染率80%
- 夏　感染率27%
- 10月　感染率85%
- 10月下旬　はっか結晶(ﾒﾝﾄｰﾙ)処理
- 11月下旬　感染率85%
- 2014年1月　アカリンダニの感染率12%

検鏡でダニの卵は確認できない。

詳細は太陽のしずく　大地の響のブログ参照

重箱のはっか結晶処理法
(ﾒﾝﾄｰﾙクリスタル)

巣箱に入れた送風器



（準備する物）

- 香取送風器　約1000円
- はっか(ﾒﾝﾄｰﾙ)結晶
- はっかを入れるお茶袋
- 乾電池単三4本～6本
- ペット用ﾋｰﾀｰ100V約1500円

手順

1. お茶袋にはっか結晶10gを入る。(約0.3g/日の昇華)
2. お茶袋を送風器の香取マットを除き取り付ける。
3. 巣箱内に乾電池用香取用送風器を入れる。
4. 送風器は巣内で3週間以上回す。
5. 必要に応じ電池の取り替えとﾒはっかを追加する。

・処理時期は　10～11月　2～3月に3週間
・この時期であればはっか匂で逃去することはない。
・はっかの揮発が少ない時はペット用ﾋｰﾀｰを入れる。
・<u>はっかは農薬ではないので蜜は食用に使用できる。</u>

はっか蒸気は、空気と比較5．5倍重いので送風器が必要。

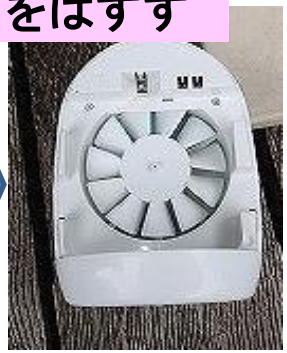
はっかは会で購入します。入用者は、望月まで

具体例

はっか処理香取送風器（電池式）

（アース・ベープ式他）

裏キャップをはずす

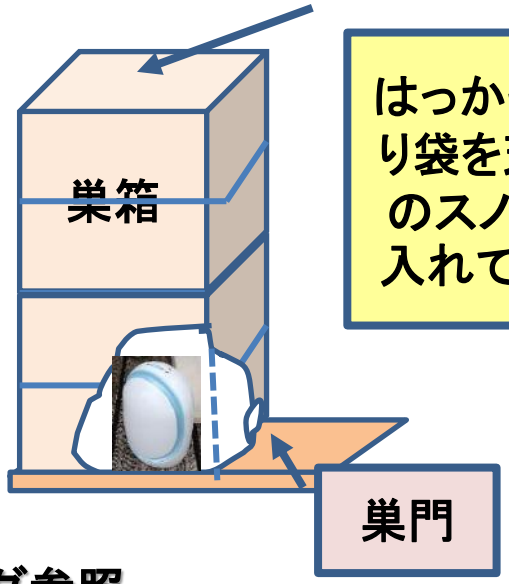


左の網を乗せる

あみ

はっか結晶入り袋を乗せる

キャップをして巣箱内に入れスイッチON



はっか結晶入り袋を天板下のスノコから入れてもよい

はっか結晶入袋（メントールクリスタル）

詳細は太陽のしずく　大地の響のブログ参照

12.飼育年間計画

中部地区で日本みつばちを飼育管理する為の年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ。

項目／月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
掃除	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
分蜂捕獲				○	○	○						
採蜜カス給餌			○					○			○	
重箱の段増し						○			○			
採蜜						○				○		
ｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ対策					○				○	○	○	
スムシ対策			○	○	○	○	○	○	○	○		
脱糞対策	○	○	○								○	○
冬囲い(風)	○	○	○								○	○
ｱｶﾘﾝﾀﾞﾆ駆除		○	○							○	○	

（基台取替等）

（粘着板・トラップ準備）

（セルタン）（電撃殺虫器等）

（里山等への移動が望ましい）

（特に零下5度以下になる地区は必須）

（ﾒﾝﾄｰﾙを3週間以上0.3g/日巣内揮散）

＊ｱｶﾘﾝﾀﾞﾆ対策ーーーー2-3と10-11月にﾒﾝﾄｰﾙを3週間以上巣内揮散する。0. 3g/日

＊掃除--基台（底板）上に落下した巣カス、空巣、スムシ等の除去（◎は2～3回/月）

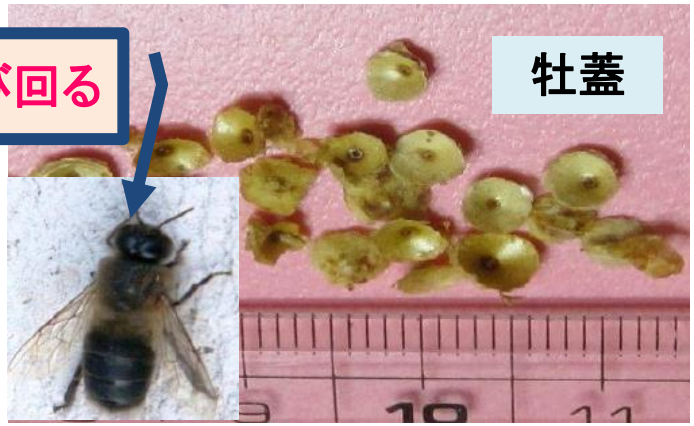
分蜂の予測4～6月（名古屋1例）

NO	巣箱の状況	写真	期間(週)								分蜂予測コメント
			1	2	3	4	5	6	7	8	
1	最初の牡蓋が出る	○	→	→	→	→					約3～4週間
2	牡蜂が多数舞う	○		→	→	→					10日前後
3	王台が出来る	○			→	→					産卵～15日後 王蓋が黒くなって数日
						→					
4	数千が飛回り巣門を出る	○				→					即
5	第一分蜂	○			→	→					
6	第二分蜂					→	→				第一分蜂後数日
7	第三分蜂						→				第二分蜂後数日
8	分蜂の終了					→	→	終	了		第一分蜂から約2週間

＊分蜂は、風のない・暖かい・天気の良い時の10～14:00の間にすることが多い。
又、連続する分蜂は2～7日間を置いて起こり第一分蜂から約2週間で終わる。

分蜂予測写真

牡蓋が巣門外に出る



王台が巣先端できる

分蜂直前後巣箱巣門

分蜂時の上空

分蜂捕獲と定着手順

NO	捕獲・定着手順	内　容	備　考
1	捕獲板の設置	牡蜂が飛び回り出したら、巣箱から約2～3mの木陰に取付ける。	数個の捕獲板に蜜ロウ等を塗り設置する。
2	分蜂球の捕獲	20～30分以上置いて分蜂球を作ったら霧吹きで静め分蜂板を下ろす。	分蜂板以外の高所はﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ箱、ﾋﾞﾆｰﾙ袋等に捕獲る。巣箱は、十分に生抜きして蜜ロウ等を天板に塗る。
3	巣箱に移す。	巣箱の天板を開け、刷毛、団扇等で蜂球を優しく落とす。	
4	ﾊﾁﾏｲｯﾀｰの装着	必ず巣門前の基台にねじ止めする	第一分蜂は定着しやすい
5	女王の交尾	15時頃女王蜂がﾊﾁﾏｲｯﾀｰ内で出てきたら外し交尾に出す。15～60分	出ない女王の場合は10日で巣箱のﾊﾁﾏｲｯﾀｰを外す。
6	花粉を持込	巣ができ子育が始まったことを示す。	花粉を運ぶ巣箱はﾊﾁﾏｲｯﾀｰを約2週間で外しても良い。
7	第2,3の分蜂	第2分蜂は数日後にNO2～6と同じ操作で定着。同様第3分蜂も行う。	第一分蜂後2週間で分蜂は終了する。
8	自然巣分蜂捕獲	咲いた金陵辺を生抜きした巣箱のそばに置くのが、捕獲確率高い	巣箱天板には蜜ロウを板に染みこむように薄く塗る。

注意：疑似分蜂は、女王がいないので元巣に戻る。(約１～2割）

分蜂捕獲と定着写真

捕獲板

蜜ロウを塗布

分蜂球

巣箱に移す

装着ハチマイッター

ハチマイッター

日本ミツバチの参考書・ブログ

NO	タイトル	著者	出　版	価格（税別）	備考
1	家族になったニホンミツバチ	久志冨士雄	高分研	3,000	DVD付き
2	ニホンミツバチの飼育法と生態	吉田忠晴	玉川大学出版部	2,100	
3	だれでも飼える日本ミツバチ	藤原誠太	農分協	1,700	
4	養蜂作業ノート	富永朝和	八ヶ岳南麓日本みつばちの会	800	日本ミツバチの12ヶ月
5	みつばちブログ	前田太郎	http://beekeeper.seesaa.net/article/379325337.html		アカリンダニ

NO1～4の本は名古屋市図書館で借用可能です。
（登録すれば自宅のCPでｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索・借用予約できます）